

やまがた創生便り

～協働・循環型「やまがた創生」人材育成事業～

平成28年7月11日
第3号(夏季)

グローバル化と地方創生

協働・循環型「やまがた創生」人材育成事業では、グローバル化の中で世界と戦える人材の育成、企業の支援を行っていきます。グローバル化と地方創生は矛

盾しているように思えるかもしれませんが、紹介していく事業を通して、世界に発信する山形に共感してもらえれば幸いです。

地域間交流支援事業 (RIT 事業)

去る6月13日に、山形大学工学部にドイツ・ザクセン州の企業関係者10名ほどが来訪され、山形県内の企業関係者との商談会が行われました。日本貿易振興機構(JETRO)による支援を受けています。パネル展示でザクセン・山形それぞれの企業の紹介がおこなわれており、各所で商談が進められていました。こうした事業の継続で、山形にいながらにして世界と交流できる機運が高まっていくことが期待されます。なおあらためて、山形大学工学部の高木直人さんが、YUMに詳細を紹介してくれる予定です。

<http://yamagata-university.jp/>



教育科目の展開

協働・循環型「やまがた創生」人材育成事業では、地域に密着して展開する様々な教育科目を、参加大学間の連携を深めながら実施していきます。この項

では、各大学で進められている先進的な教育科目を取り上げ、皆様の参加を求めています。

自己開拓型インターンシップ^o 担当教員：東北公益文科大学・鎌田剛

以前から関心のあった空港の仕事を体験するため、庄内空港のハンドリング業務を担当している株式会社庄交コーポレーション航空事業部様に思い切って電話をかけ、平成28年3月に、5日間のインターンシップを体験しました。

主な実習プログラムは、チャーター便(臨時国際便)の準備とヘルプ、飛行機の見学、保安・危険物取り扱いについて、出発手続きヘルプ、到着ヘルプ、館内アナウンス、身だしなみとメイクについて、特別イベントの紹介、バリアフリー対応、チェックイン体験、整備見学でした。最初は緊張の連続でしたが、お客様と言葉を交わしながら明るく見送り、お客様からも笑顔が返ってくるにつれ、緊張もほぐれ、自然と笑顔になれました。

チャーター便の受け入れ準備においては、県外から国際線の応援スタッフや通訳ボランティアがかけつけ、国内線の出発直後に、係員が総出で国際線ターミナルを設置していきました。係員のチームワークと共に、外部との連携の緊密さを肌で感じた体験になりました。実際の出入国の場面では、中国からのお客様と上手く話しができなかったのが心残りではありましたが、笑顔で「謝謝」や「Thank you」と言われ、とても嬉しくなりました。

このように、楽しく有意義な時間を過ごすことが



できましたが、一方で、航空関連の知識不足と、語学の習得が課題として残りました。国際ビジネスや観光の世界では、今は英語だけでなく中国語も重要視されています。今回のインターンシップを通じ、今後は、普段から力を入れている英語だけでなく、中国語にも挑戦し、将来に備えたいと考えるようになりました。

執筆

東北公益文科大学3年 小河原佳奈

やまがた創生便り

～協働・循環型「やまがた創生」人材育成事業～

CO-OP 教育 担当教員：鶴岡工業高等専門学校・増山知也

春期休業期間に4度目のCO-OP教育に参加しました。実習先は鶴岡市内のオリエンタルモーター（株）です。これまではSolidworksで3D-CADモデルの作成をしましたが、今回はプログラミングの実践的な力を身につけることを目標として、生産支援システムのひとつである重量検査ラベル印字システムの改良に取り組みました。改良に当たって、システムのユーザーとなる部署の方とのミーティングに参加し、改良する内容についてイメージの相違点を無くすよう努めました。続いて、システムの概要や改善項目を踏まえたうえで、改造した内容に不備がないか、検証に使用するチェック項目の確認をするレビューを行いました。最後に「自己検証」、「第三者検証」、「ユーザー検証」を行いました。今回、ミーティングやレビュー、検証などを通して、1つのシステムを開発するにあたり、多くの人材が必要であり、システムの質を向上させるためにも、チームワークは欠かせないものであることを学びました。最後になりましたが、オリエンタルモーターの皆様には、大変お世話になりました。ありがとうございました。

執筆

鶴岡工業高等専門学校5年 遠藤裕美

地域と協働する学生たち

協働・循環型「やまがた創生」人材育成事業は、県内大学・高専学生の皆さんが、地域と積極的に関わることを推進しています。学生の皆さんが主体に

なって、地域と協働することを応援します。ここでは、地域と協働する学生たちを紹介します。

山形大学花笠サークル「四面楚歌」

私たち山形大学花笠サークル「四面楚歌」は、毎年8月に行われる「山形花笠まつり」を中心に県内外で踊りを披露させていただいています。具体的なイベントとしては、先日青森市で行われた「東北六魂祭」など県外でのイベントもありますが、メインとなるのは山形県内でのイベントです。例えば山形市の「日本一のさくらんぼ祭り」や東根市で開かれる「さくらんぼマラソン大会」、また地区や老人ホームでの夏祭りなどで踊りを披露させていただくこともあります。

それらの活動の中で特に感じるのは、地元山形の方もお客様として私たちの踊りを楽しんでくださっているということです。花笠踊りを通じて、県外の方に山形のことを知っていただくだけでなく、県内の方と一緒に盛り上げていくということも地域にとって重要な要素であると思います。

ちなみに、私たちの「四面楚歌」という名称には、本来の意味とは逆の「四方をお客様に囲んでいただ

3年夏・3年春・4年夏

○ 学んだこと

- ・ Solid Worksの基本操作
- ・ 確認作業の重要性
- ・ 時間配分

4年春

システム開発する上での
チームワーク

○ 新たに身に付けたこと

- ・ 習慣的なあいさつ
- ・ 基本的な礼儀
- ・ 理解度の確認

伝えたい内容を
要約して話す



作成したプログラムの実行の様子



いて踊りを披露する」という思いが含まれています。これからもお客様に囲んでいただきながら、花笠踊りを通して山形を盛り上げていきたいと思ひます！

執筆

山形大学人文学部3年 木村晴伸

やまがた創生便り

～協働・循環型「やまがた創生」人材育成事業～

地域と協働する民間団体

協働・循環型「やまがた創生」人材育成事業は、県内大学・高専学生の皆さんが、地域と積極的に関わることを推進しています。その中で、学生の皆さん

との協働を歓迎する民間団体が多数存在します。ここでは、そうした県内 NPO などを紹介いたします。

NPO 法人まちづくり山形

私たち NPO 法人まちづくり山形（理事長 村中 秀郎）は、地域とともに、暮らしやすく誇りが持てる、歴史・文化に根付くまちづくりや、まち育ての展開を目指して活動しています。

私たちは、学生たちから様々なまちづくりのアイデアなどを提案してもらい、その一つでも実現できるように一緒になって取り組んできました。

時代とともにまちづくりが多様化する中、より柔軟な対応を目指して、平成 28 年度、学生同士が知り合い、よく話し合い、連携する気持ちになるための交流・連携の場づくりと、現に進行中のまちづくり現場などを実体験できる機会の提供など、社会教育・人材育成の道を模索する活動を進めています。

学生同士、学生一社会人を掛け合わせる、そんな活動です。一緒になって何かを生み出しませんか。7月29日（金）に七日町で学生の皆さんにも参加してもらえる会合を開きます。ぜひ参加ください。



連絡先
NPO 法人まちづくり山形
TEL: 023-679-3301 / 携帯: 090-4244-2255
E-mail: matidukuri-yamagata@nifty.com

美しい山形・最上川フォーラム

「美しい山形・最上川フォーラム」は、山形県の母なる「最上川」をシンボルに、美しい元気な山形づくりを目指して、平成 13 年 7 月に発足した団体です。産学官公民 4,200 会員がイコールパートナーの全県の組織で、住民が交流し、美しい自然や文化を次代に引き継ぐ活動をしています。

発足以来継続しているクリーンアップ活動（ゴミを拾い、数をデータ化することで発生源対策を考える啓発事業）や、一斉水質調査、桜を守り育てる人材を育成し、ネットワークづくりを支援する最上川夢の桜街道。づくり、写真コンテスト、紙芝居の制作やシンポジウムによる舟運文化の掘り起こしなど、環境・文化・経済を融合化し活力ある地域づくりに取り組んでいます。

県内全域でのスポーツ GOMI 拾い等による多彩なゴミ発生源対策活動は、多様な主体との協働による街中活性化、多世代の交流などが期待される事業で、様々な展開の可能性を持っています。また、地域の方たちと地元の中学生による紙芝居づくりのワークショップでは、地域外からの視点や多世代の方々の協力があれば、更に面白いものができると思います。学生達との協働の活動や地域と方々とのつながりづ



くりへとつながっていくことを期待しています。地域と関わりながら、環境活動や文化継承活動を通し、未来を考えるきっかけづくりをしませんか。

連絡先
美しい山形・最上川フォーラム
TEL: 023-666-3737
MAIL: mh-mogamigawa@eagle.ocn.ne.jp

やまがた創生便り

～協働・循環型「やまがた創生」人材育成事業～

COC+ 大学 OB・OG の現在

早川貴泰（平成10年 山形大学教育学部卒業）

Q. 出身は？

山形県天童市の出身です。高校は山形南高校です。

Q. 大学での専門は？

大学では美術教育と油絵を学んでいたのですが、ずっとアニメーションをしたいと考えていました。卒業後は情報科学芸術大学院大学に進学し、本格的にアニメの勉強をしました。ですが山形で教育者としての訓練を受けたことで、アニメ技術の飲み込みが早くなりました。また油絵という、手で描く技術をアニメに持ち込んだことで、世間から評価していただきました。（注：早川さんは文化庁メディア芸術祭などで多数の受賞歴を持っています。）



東日本大震災でのワークショップの様子。赤い服を着ているのが早川さん。

Q. 今どんな仕事をしていますか？

Frame and Surface という Web デザインと映像制作を軸にした会社を運営しています。CM・動画作成、美術教育のコンサルタント、被災地でのワークショップなどを展開しています。本社は横浜ですが、山形にも月に1度ほど仕事で訪れています。

Q. 仕事の感想は？

常に新しい仕事にチャレンジしているので、プレッシャーが付きまといます。でもそれを乗り越えて、お客さんに喜んでもらえる、とても達成感があります。

Q. これからの目標

山形の地方創生のためには、山形と他地域に拠点を持って活躍する「半山形人」という働き方が大事なのでは、と考えています。そうした働き方のモデルになれば、と考えています。

Q. 学生へのメッセージ

学生の時は、複数の専門を持って勉強すると良いです。後で役に立つときが来ます。そして友人や先生を大事にしてください。社会に出たとき、とくに困ったとき、いちばん助けになってくれるのは、大学の時の友人や先生です。

Frame and Surface HP

<http://www.fas.co.jp/>

記事執筆者の募集

季報「やまがた創生便り」は、学生目線で地方創生・人材育成を考え、情報発信するために発行しています。県内大学・高専の学生の皆さん、県内大学・高専への進学を考えている小中高生の皆さんによる記事執筆を広く募集します。また地域の方で、いまの

若い人たちにぜひ自分たち地方創生・人材育成について発信したいという地域の皆様の声も掲載したいと考えております。関心のあるかたは、ぜひ以下の連絡先まで気軽にご一報ください。

事業の連絡先

山形大学 COC 推進室
東北公益文科大学庄内オフィス
東北芸術工科大学法人企画室
米沢栄養大学総務企画課
東北文教大学運営企画室
鶴岡工業高等専門学校総務課
※☎を@に変換してください

電話 023-695-6263/6264

電話 0234-41-1115

電話 023-627-2089

電話 0238-22-7330

電話 023-688-2298

電話 0235-25-9453

E-mail: cocsuisin☎jm.kj.yamagata-u.ac.jp

E-mail: coc-office☎koeki-u.ac.jp

E-mail: c_o_c☎aga.tuad.ac.jp

E-mail: jimuyone☎yone.ac.jp

E-mail: m_mihara☎t-bunkyo.ac.jp

E-mail: kikaku☎tsuruoka-nct.ac.jp